

文教・医療用途向けH.264エンコーダー



Matrox® Monarch™ LCS

簡単な設定とシンプルな操作性

Monarch LCSは、信頼性が高く、簡単な設定であらゆるビデオマネージメントシステム（VMS）やレクチャーマネージメントシステム(LMS/学習運営システム)と連携して使用できるH.264エンコーダーです。SDIまたはHDMIのカメラ映像とプレゼンテーション用の資料を同時に取り込み、ピクチャーインピクチャーやサイドバイサイドで合成して簡単に録画・配信できます。ご要望にあわせた柔軟な設定が可能で、一度設定すれば、本体正面のボタンでエンコーディング操作を実行できる、コストパフォーマンスの高いデバイスです。

柔軟な入力対応

Monarch LCSはHDMI x 2系統、およびHDMI x 1系統 + SDI x 1系統の入力に対応しています。また、音声はエンベデッドおよびアナログ入力に対応しています。SDIとHDMIの両方に対応することで、最適なシステム構成を実現できます。SDIケーブルで100mまで取り回せるため、エンコーダーがカメラから離れた場所に設置されている場合に最適です。HDMI入力にも対応しているため、HDMIカメラ等にも接続できます。

フレームシンクロナイザー 機能

レクチャーキャプチャーでは、コンピューターと映像、音声の3つすべてを同期させる必要がありますが、それぞれの解像度とビットレートを一致させることは困難です。Monarch LCSはこの異なるフィードを同期させてからエンコーダーへ送り込みます。そのため、どの操作モードでも、映像・音声を完全に同期できます。また、搭載されたフレームシンクロナイザーは、いずれかの入力が途切れてしまった場合においても、断絶のない配信・録画を実現します。



ライブ映像のプレビュー出力

SDIおよびHDMI出力に対応し、入力映像もSDIまたはHDMIを選択して出力できます。また、HDMI出力においては、エンコーディングのパラメーターの解像度を選択でき、遠隔の視聴者に送られるコンテンツのプレビューを確認する場合にも適しています。

遠隔管理

付属のアプリケーションである『Matrox Utils』を使用して、ネットワーク上にあるすべてのMonarch LCSデバイスのステータスやファームウェアのバージョンが最新であるかどうかを確認できます。また自動でデバイスのソフトウェアを更新することも可能です。さらに、このソフトウェア経由でネットワーク上にあるMonarch LCSの再起動も実行できます。



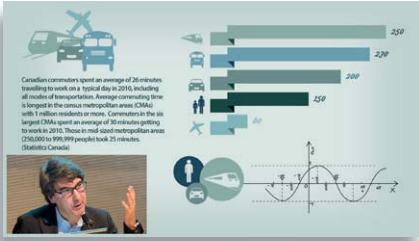
多用途に利用できるAPI

Monarch LCSには『Monarch LCS Dev Tools』というAPIが用意されています。APIには自動設定ツールやMonarch LCSを制御するツールが含まれており、Monarch LCSをシステムの一部として活用できます。APIを使いこなすことでシステム管理の一元化が可能となり、Monarch LCSのCommand Centerから制御する手間も省けます。

Crestronでの制御

Crestronの制御システムがある場合、Monarch LCSのControl APIは理想的な形でMonarch LCSの機能を既存システムに連携させて活用できます。Monarch LCSの登録ユーザーはCrestron 2-Seriesと3-Seriesを運用するためのサンプルをダウンロードできます。





多彩な操作モード

Monarch LCSがあれば、複雑な録画機材はもう必要ありません。効率よくレクチャーキャプチャーを実行できます。レクチャーキャプチャーの典型的な構成である、プレゼンター映像・音声とプレゼンテーション資料を合成して配信する場合、ピクチャーインピクチャー(P in P)やサイドバイサイド(Side by Side)など最適なレイアウトを操作モードから選択できます。また、入力映像を変更したい場合には、スイッチャーモードで切り替えができます。簡単な操作で、セミナーやプレゼンテーションを多彩で魅力的な構成で配信・録画できます。

視聴者がレイアウトを設定可能

視聴者がレイアウトを選択できることにより、積極的にコンテンツに関わっていただけます。アイソレーテッドモードでは2つの異なるビデオファイルまたは映像を配信できます。この機能により互換性のあるプレイヤーと連携させることで、視聴者は自由にレイアウトを選択できます。同期のとれた映像と音声を保ちながら、シームレスに好みのレイアウトに切り替えることもできます。



シンプルな操作性

Monarch LCSは、同一ネットワーク上にあるタブレット端末（通常のウェブブラウザアプリケーションに対応しているもの）で簡単に制御できます。ユーザーインターフェースは直感的に操作しやすく設計されており、どこからでもワンクリックでエンコードが開始できるようにデザインされています。配信・録画の様々なプリセットが用意されており、解像度やビットレートを含むすべての必要なパラメーターを設定できます。エンコーディングのパラメーターはカスタマイズが可能であり、配信先や操作モードの設定とともにユニークなプロファイルとして保存できます。複数のオペレーターが使用する場合にも、一度設定したプロファイルは簡単に読み込むことができ、再入力の手間がかかりません。

既存システムと簡単に連携

Monarch LCSは、ネットワーク環境での使用を前提として設計されており、資産管理ソリューション（OpenCastVMSやMoodle LMなど）により管理されている既存のインフラにシームレスに連携して使用できます。また、スケジューラー機能はオープンソースiCalソフトウェア（Googleカレンダーなど）に対応しており、スケジュールを作成し、.icsファイルフォーマットに書き出して、簡単にデバイスに読み込みます。スケジュールはいつでも読み込むことができ、定期的にネットワーク上のスケジュールを読み込むように設定することも可能です。

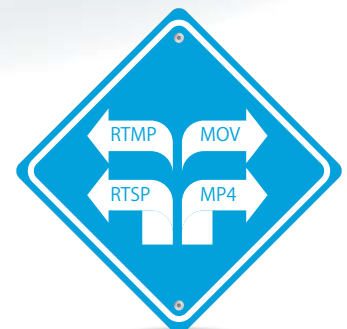


高品位なエンコーディング機能

Monarch LCSの2系統H.264エンコーダーは最大20Mb/sのエンコーディング性能を有しています。この2つのエンコーダーは、それぞれ別々に設定（ビットレートや品質）でき、さらに、パワフルなスケーリング機能、インターレース解除機能、再現性を高めてエンコーダーへ送るためのノイズ低減エンジンなどを搭載しています。それぞれのエンコーダーは1080p30でエンコードするよう設定できます。

エンコード先の設定

Monarch LCSの2つのエンコーダーは配信・録画先を複数設定できます。録画のために使用する場合、どの再生ソフトウェアでも再生できるようにMOVもしくはMP4でキャプチャーできます。録画先は、USBドライブ、SDカード、もしくはネットワーク上にある共有ドライブのいずれかが指定でき、LMSやVMSに即座に活用いただけます。配信に使用する場合には、RTMP・RTSPプロトコル両方に対応しており、ローカルメディアサーバーやクラウドベースのCDNサービスでライブ配信できます。



堅牢で実用的なデザイン

Monarch LCSの正面中央には外付けストレージデバイスのためのUSBポートが搭載されており、正面右側にはWebベースのUIの代わりに制御できるボタンが3つあります。接続系統は背面にあり、電源は外れないようロックが施されています。また、1Uトレイにちょうど2式収まるようデザインされています。



フロントパネル



バックパネル



- 1) パワーLED
- 2) 入力選択ボタン
- 3) スイッチボタン
- 4) エンコーダーの開始/停止ボタン
- 5) USB2.0ポート1
- 6) USB2.0ポート2
- 7) SDカードスロット
- 8) 電源コネクタ
- 9) ギガビットイーサネットポート
- 10) RS-232コネクタ
- 11) HDMI入力 B コネクタ
(エンベデッドオーディオ付)
- 12) HDMI出力コネクタ
(エンベデッドオーディオ付)
- 13) HDMI入力 A コネクタ
(エンベデッドオーディオ付)
- 14) SDI出力コネクタ
(エンベデッドオーディオ付)
- 15) SDI入力 A コネクタ
(エンベデッドオーディオ付)
- 16) アナログオーディオ出力
(ステレオ)
- 17) アナログオーディオ入力
(ステレオ)

matrox[®]
Digital Video Solutions

<製造元> Matrox Electronics Systems Ltd. は、カナダのモントリオールに本社を置き、1976年の創業以来、“Matrox Video”ブランドの優れた放送・業務用デジタルビデオ製品を開発・販売している

【Matrox Video日本国内総輸入販売】



ジャパンマテリアル株式会社
グラフィックスソリューション事業部 グラフィックスソリューション部
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目12番1号 パークウエスト8階
TEL 03-5323-0820 FAX 03-5323-0821 E-mail sales-IT@j-material.jp
URL www.jmgs.jp (グラフィックスソリューション部専用HP)

販売店

※記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。 ※記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。